

第1章 世界と日本の地域構成

1 地球の姿	5
2 世界の姿	11
3 日本の姿	17
第1章のまとめ	23
章末問題A	24
章末問題B	26

第2章 世界各地の人々の生活と環境

4 世界各地の気候とくらし	27
5 世界各地の人々の生活	33
第2章のまとめ	39
章末問題A	40
章末問題B	42

第3章 世界の諸地域と世界のさまざまな地域の調査

6 アジア州	43
7 ヨーロッパ州	49
8 アフリカ州	55
9 北アメリカ州	61
10 南アメリカ州	67
11 オセアニア州	73
12 世界のさまざまな地域の調査	79
第3章のまとめ	85
章末問題A	86
章末問題B	88

パワーアップ 地図をかこう	89
---------------------	----

6 アジア州

- テーマ**
- ① 広大なアジア州の各地域の自然環境や人々のくらしの特徴を理解しよう。
 - ② 中国やインドなどを中心に、成長を続けるアジア州の産業の特徴を理解しよう。

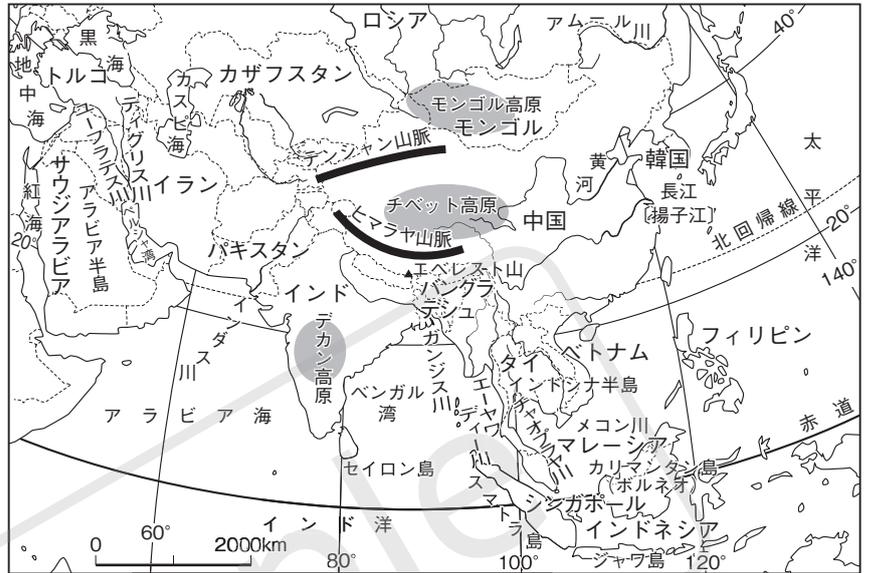
1 自然環境

(1) 地形…「世界の屋根」とよばれるチ

ベット高原やヒマラヤ山脈がそびえ、
黄河、長江、メコン川、ガンジス川、
インダス川などの大河が流れている。

(2) 気候…シベリアは寒帯もしくは冷帯、
内陸部は乾燥帯、中央の高地は高山気
候、東アジアの多くは温帯、東南アジ
アから南アジアにかけては熱帯に分類
される。また、海岸に近い東部では季
節風〔モンスーン〕の影響を受け、イン
ドシナ半島やインドなどでは雨季と乾
季がある。

▼アジアの自然環境



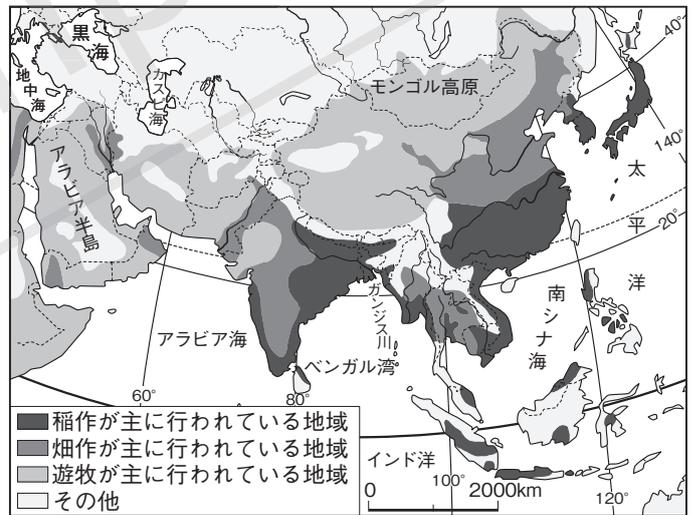
2 人々のくらし

(1) 世界の6割の人口…人口密度が高い
地域も多い。約14億人と人口世界一の中国は、「一
人っ子政策」で人口増加をおさえていた(少子高齢
化のため廃止)。インドでは出生率が高く、将来、
人口世界一の国になると予測されている。

(2) 多様な文化…東アジアは中国文化の影響が強い。
東南アジアでは、仏教、イスラム教、キリスト教が信
仰されているように、さまざまな地域の影響が見ら
れる。西アジアではイスラム教の信仰が人々の生活
にも深く関わっている。

(3) 多民族国家…中国には、人口の9割以上を占める
漢族のほか、55の少数民族がいる。マレーシアでは、
先住のマレー人や、中国系の華人・インド系の人々
などがくらししている。

▼アジアの農業



降水量の多い地域では稲作が、少ない地域では畑作が、特に少
ない地域では遊牧が行われる傾向が見られる。

確認問題

1 自然環境 次の()にあてはまる語句を答えなさい。

- (1) アジアには、「世界の屋根」とよばれる(①)高原や(②)山脈がそびえ、
黄河、(③), メコン川、ガンジス川、インダス川などの大河が流れている。
- (2) シベリアは寒帯や冷帯、内陸部は(①)帯、中央の高地は高山気候、東アジア
の多くは(②)帯、東南アジアから南アジアにかけては(③)帯に分類される。

- (1) ① _____
② _____
③ _____
- (2) ① _____
② _____
③ _____

2 人々のくらし 次の()にあてはまる語句を答えなさい。

- (1) 中国では、かつて、人口増加をおさえるため、「()政策」を実施していた。

- (1) _____

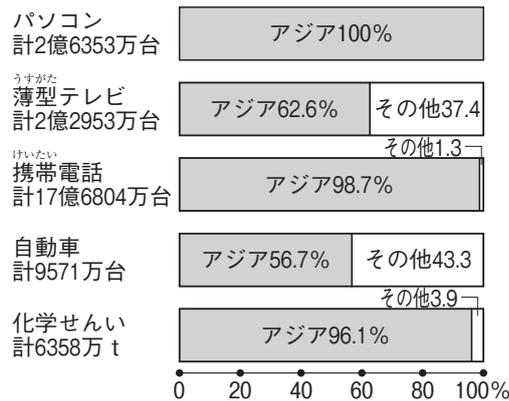
3 アジアの産業の変化

- 第二次世界大戦後…農業の近代化や経済の自立が課題だった。
- 1970年代以降…韓国・台湾・ホンコン(香港)・シンガポールで工業化が進み、製品を欧米や日本に輸出して急成長し、アジアニース[新興工業経済地域]となる。その後、タイ・マレーシア・インドネシアなどのASEAN[東南アジア諸国連合]諸国でも工業化が進展した。
- 1990年代以降…韓国や台湾ではハイテク[先端技術]産業が発展している。また、中国やインドは、20世紀終わりごろから急速に経済発展をとげたBRICSの一員である。

4 中国・インドの経済成長

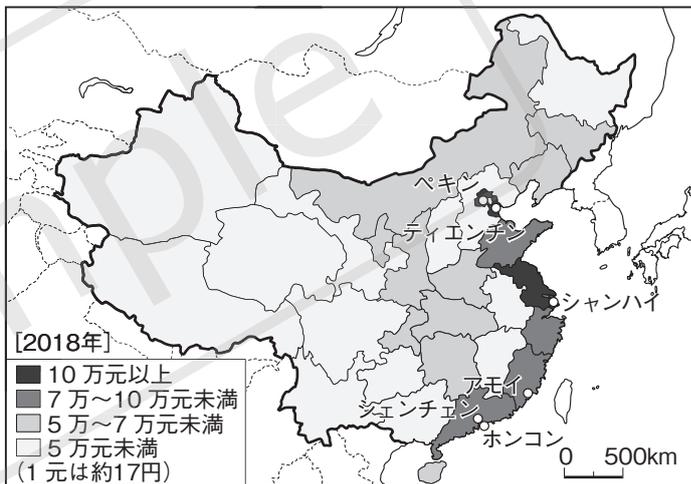
- 中国の工業化と格差の拡大…シェンチェン(深圳)やアモイ(厦門)など沿海部に外国企業を受け入れる経済特区[経済特別区]を設置し、シャンハイ(上海)やティエンチン(天津)などでは中国企業と外国企業が共同経営する工場を建設するなど、工業化を進めた。世界中で中国製品が使われるようになり、中国は「世界の工場」ともよばれるようになった。また、ハイテク[先端技術]産業や情報通信技術[ICT]産業なども大きく発展している。その一方、発展する沿海部と内陸部との格差が問題となっている。
- インド…1990年代以降、経済の自由化が進展した。特にベンガルールを中心に情報通信技術[ICT]産業が発展し、自動車産業なども成長している。
こうした成長の背景には、英語や数学の教育水準が高いというインドの特徴もある。
豊かな人々が増え、大都市の景観も変化しているが、農村の人々の生活水準は依然として低く、格差が問題になっている。
- 国境をこえた交流…中国系の華人やインド系の人々が、世界中で活躍している。

▼おもな製品の生産量におけるアジアの占める割合



(自動車・化学せんいは2018年, 他は2016年の推定)
(2019/20年版「世界国勢図会」ほか)

▼中国の地域別GDP(国内総生産)(1人あたり)



中国のGDPは、アメリカに次いで世界第2位である。ただし、国内の格差が大きく、国全体の1人あたりGDPでは先進国の水準に達しない。

確認問題

3 アジアの産業の変化 次の()にあてはまる語句や数字を答えなさい。

- 1970年代以降、(①)・台湾・ホンコン・シンガポールで工業化が進み、製品を欧米や日本に輸出して急成長し、アジア(②)[新興工業経済地域]となる。
- タイ・マレーシア・インドネシアなどの() [東南アジア諸国連合]諸国でも工業化が進展している。
- 中国やインドは、20世紀末ごろから急速に経済が発展した()の一員である。

- (1) ① _____
(2) ② _____
- (2) _____
- (3) _____

4 中国・インドの経済成長 次の()にあてはまる語句や数字を答えなさい。

- 中国では、沿海部に外国企業を受け入れる()を設置、工業化を進めた。
- 中国では、ハイテク[先端技術]産業や情報通信技術[(①)]産業なども発展しているが、発展する沿海部と(②)部との格差が問題となっている。
- インドでは、ベンガルールで情報通信技術産業が発展し、()産業なども成長している。
- 中国系の人々[()]やインド系の人々が、世界中で活躍している。

- (1) _____
- (2) ① _____
② _____
- (3) _____
- (4) _____

5 東南アジア

(1) 気候と農業…季節風[モンスーン]の影響を受けて降水量が多い地域では、稲作がさかんで、年に2回米をつくる二期作も行っている。また、1960年代以降、品種改良やかんがい設備の整備などが進んでいる。

第二次世界大戦後、植民地時代につくられた天然ゴムやコーヒーなどを大規模に栽培する農園(プランテーション)が、現地の人々によって経営されるようになった。近年、大規模開発による熱帯雨林の減少が問題となっている。

マングローブが広がる海岸で養殖されるエビや、フィリピンの農園でつくられるバナナなどは、日本へもさかんに輸出されている。

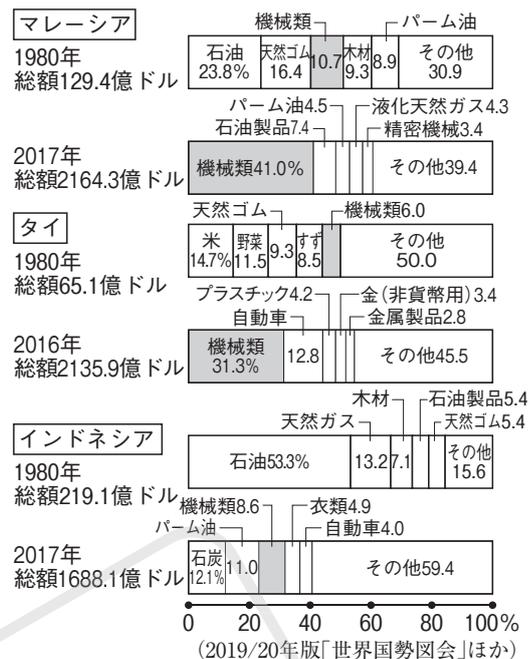
(2) 急速な都市化と課題…農村からの人口流入と高い出生率によって、1960年代から都市の人口が増加したため、交通渋滞や設備が不十分な住宅などの都市問題が発生している。その一方で、都心に新たなショッピングセンター、郊外に住宅団地が建設されるなど、都市圏が拡大している。しかし、工業化が進んでいる地域と、進んでいない地域との格差など、新たな課題も発生している。

6 西アジアと中央アジア

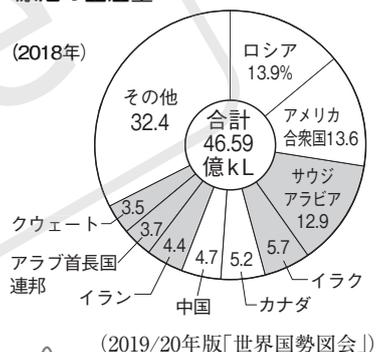
(1) 西アジア…多くの人々がイスラム教を信仰し、アラビア語を使用している(イランではペルシャ語)。石油の宝庫であり、産油国の多くはOPEC[石油輸出国機構]に加盟している。石油を輸出している産油国は、石油化学工業などの重化学工業化を進める一方、近代的なかんがい農業を発展させ、生活基盤の整備を進めている。

(2) 中央アジア…イスラム教徒が多く、シルクロードの歴史的遺産も多い。カザフスタンやウズベキスタンなど5か国が、1991年にソビエト連邦の解体によって独立した。石炭や石油・天然ガス・希少金属[レアメタル]などの地下資源の輸出などで経済成長をはかっている。

▼東南アジアの国々の輸出品の変化



▼原油の生産量



原油を豊富に産出するサウジアラビアでは、学校教育費や医療費などが基本的に無料とされている。

確認問題

5 東南アジア 次の()にあてはまる語句を答えなさい。

- (1) 東南アジアでは、季節風[モンスーン]の影響を受けて降水量が多い地域で(①)作がさかんであり、年に2回米をつくる(②)作も行われている。
- (2) 第二次世界大戦後、植民地時代につくられた(①)やコーヒーなどを大規模に栽培する農園[(②)]が、現地の人々によって経営されている。
- (3) マングローブが広がる海岸で養殖された(①)やフィリピンの農園で栽培された(②)などは、日本へも輸出されている。
- (4) 急速な都市化によって、交通渋滞や設備が不十分な住宅などの()問題が発生する一方、都市圏も拡大している。

- (1)① _____
- ② _____
- (2)① _____
- ② _____
- (3)① _____
- ② _____
- (4) _____

6 西アジアと中央アジア 次の()にあてはまる語句を答えなさい。

- (1) 西アジアは石油の宝庫であり、産油国の多くは() [石油輸出国機構]に加盟している。
- (2) 中央アジアは、天然ガスや希少金属[()]の輸出などで経済成長している。

- (1) _____
- (2) _____

基本問題

1 アジアの自然環境とくらし 右の地図を見て、次の問いに答えなさい。

□(1) アジアの気候に深く関係している地図中の➡の風を何というか。

□(2) 「世界の屋根」とよばれている、地図中のAの高原とBの山脈の名前を、次のア～エから1つずつ選び、記号で答えよ。

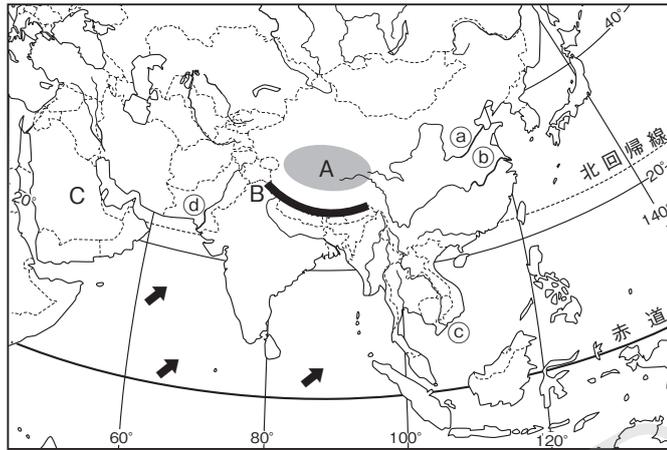
- ア パミール高原
 イ チベット高原
 ウ アンデス山脈 エ ヒマラヤ山脈

□(3) 地図中の①～④の河川の名前を、次のア～オから1つずつ選び、記号で答えよ。

- ア 黄河 イ ガンジス川 ウ メコン川 エ 長江 オ インダス川

□(4) 砂漠が広がっている地図中のCの半島周辺で信仰されている宗教を答えよ。

□(5) アジアには、さまざまな民族で構成されている国が多い。このような複数の民族で構成されている国を何というか。



1

(1)	
(2)	A
	B
(3)	①
	②
	③
	④
(4)	
(5)	

2 アジアの産業の変化 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

1970年代以降、①韓国・台湾・ホンコン(香港)・シンガポールで工業化が進み、1990年代以降、中国・②ベトナム・インドなどで、外国の企業を積極的に受け入れて、急速な工業化が進展した。特に、中国・インドは、20世紀終わりごろから急速に経済発展をとげたBRICSの**ブリックス**の一員である。

□(1) 文中の下線部①の、急速に工業化が進んだアジアの新興工業経済地域を、アルファベットを用いて答えよ。

□(2) 文中の下線部②の国が加盟している組織を、次のア～エから1つを選び、記号で答えよ。

- ア ASEAN イ EU ウ AU エ OPEC

2

(1)	
(2)	

3 中国・インドの経済成長 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

中国では、沿海部に外国企業を受け入れる(①)を設置し、工業化を進めている。また、ハイテク産業や情報通信技術産業などが発展し、周辺の農村に工業団地が建設されるなど、都市が拡大している。一方、1990年代以降、経済の自由化が進展したインドでは、ベンガルールなどで(②)産業が発展しているほか、自動車産業の成長もいちじるしい。

□(1) 中国の人口は約何億人か。次のア～エから1つを選び、記号で答えよ。

- ア 6 イ 10 ウ 14 エ 18

□(2) かつて、中国で人口増加をおさえるために行われていた政策を何というか。

□(3) 文中の(①)にあてはまる語句を答えよ。

□(4) 文中の(②)にあてはまる語句を、次のア～エから1つを選び、記号で答えよ。

- ア ハイテク イ 造船 ウ 石油化学 エ 情報通信技術

3

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	

演習問題

1 右の地図とグラフを見て、あとの問いに答えなさい。

→ 1・2・5・6

□(1) ①～③のグラフは、地図中の①～③のどの都市の気候を示しているか。あてはまるものを1つずつ選び、記号で答えよ。

①[] ②[] ③[]

□(2) アジアを6つの地域に区分した場合、地図中のA・Bの地域を何というか。

A[] B[]

(3) 次の①～③の宗教を信仰している人々が多い国を、地図中のア～カから1つずつ選び、記号で答えよ。

- ① キリスト教
- ② ユダヤ教
- ③ ヒンドゥー教

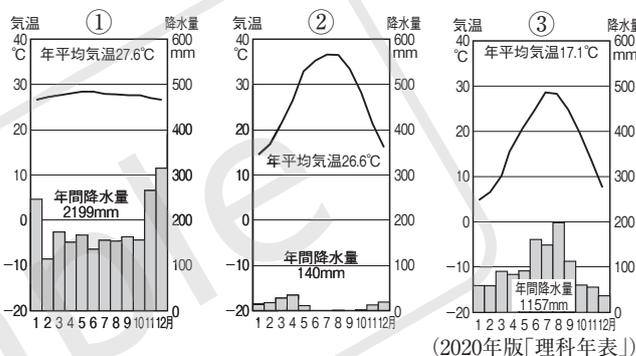
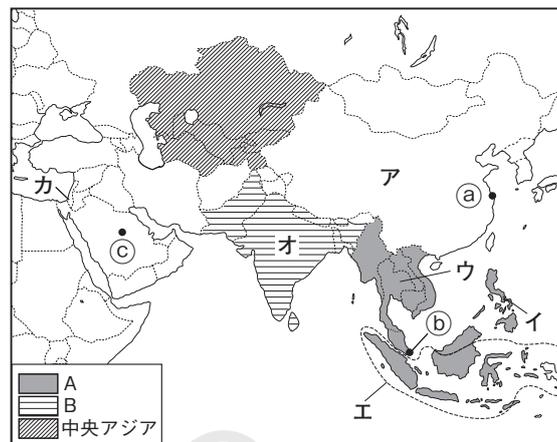
①[] ②[] ③[]

□(4) アジアには世界の約何割の人口が集まっているか。

約[]割

□(5) 地図中の中央アジアの多くの国で産出される希少金属を何というか。

[]



(2020年版「理科年表」)

2 右の地図を見て、次の問いに答えなさい。

→ 3・5

□(1) **記述** 地図中のAの地域では、稲作がさかんで、米の二期作も行われている。米の二期作とはどのような米のつくり方か。簡単に説明せよ。

[]

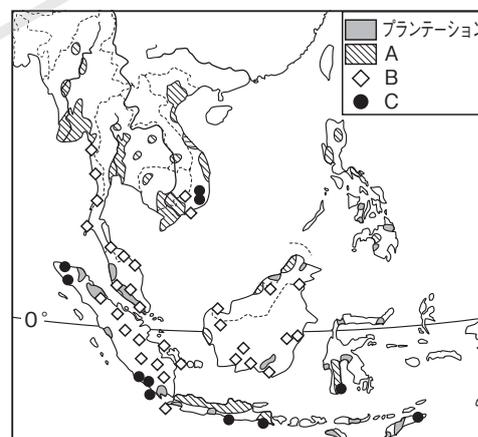
□(2) 地図中のB・Cでさかんに生産されている農作物を、次のア～エから1つずつ選び、記号で答えよ。

ア 小麦 イ 天然ゴム ウ コーヒー エ 綿花

B[] C[]

□(3) 地図中の東南アジアの国々が加盟している地域的な協力組織を、アルファベットで答えよ。

[]



3 右のグラフを見て、次の問いに答えなさい。

→ 6

□(1) グラフ中のA・Bの国を、次のア～エから1つずつ選び、記号で答えよ。

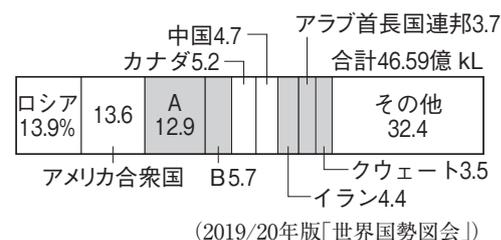
ア オーストラリア イ サウジアラビア
ウ チリ エ イラク

A[] B[]

□(2) グラフ中の で示した国々は、石油輸出国機構という組織に加盟している。この組織をアルファベットで答えよ。

[]

▼原油の生産量(2018年)

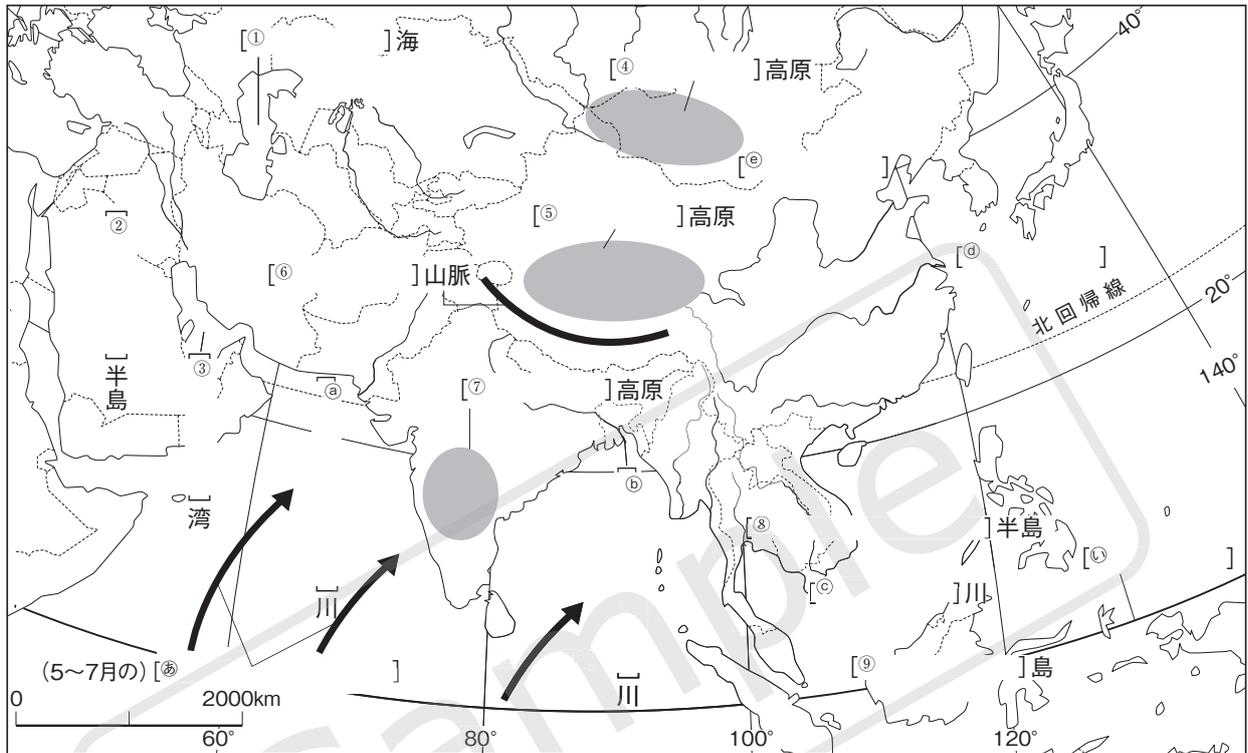


(2019/20年版「世界国勢図会」)

学習のまとめ

地図に **1** アジアの自然環境について学習した内容を、次の地図の[]に語句をあてはめて再確認しよう。

- ◎ 地図中の㉔・㉕にあてはまる語句を書こう。
- ◎ 地図中の㉖～㉙の、河川の名前を書こう。
- ◎ 地図中の①～⑨の、地形の名前を書こう。



2 アジアの国々について学習した内容を、次の地図の[]に語句をあてはめて再確認しよう。

- ◎ 地図中のA～Eにあてはまるアジアの地域区分を書こう。
- ◎ 地図中の①～⑫の、国の名前を書こう。

